

【レポート】
E-Bikeを活用した
モニターツアーについて

一般社団法人那智勝浦観光機構

事業について

事業名称: E-Bikeを活用した吉野熊野国立公園でのサステナブルツーリズムプログラム推進事業

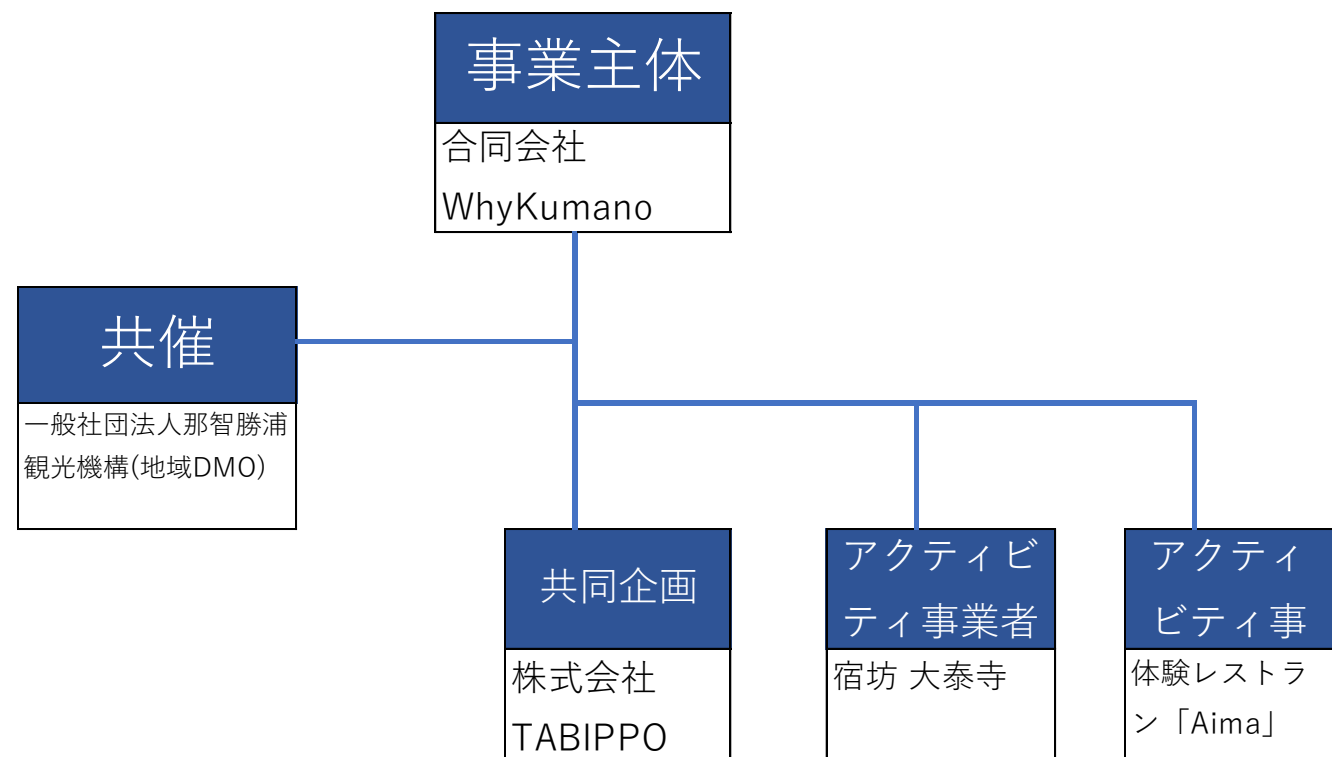
活用補助金: 観光庁 令和3年度(補正予算)国立・国定公園の利用拠点の魅力創造による地域復興推進事業 (自然体験プログラム推進事業)

事業主体: 合同会社WhyKumano

共催: 一般社団法人那智勝浦観光機構

共同企画: 株式会社TABIPPO

アクティビティ事業者: 宿坊 大泰寺、
体験レストランAima



事業目的・課題

(目的)

- ①コロナ禍を経て高まる、若者の自然やSDGs・サステイナブルな取り組みへの興味関心度の高さに着目し、自然体験プログラムを設計。E-Bikeの活用、熊野那智大社への訪問、地場産業への貢献も加味して、自然、文化、社会・経済すべてが善しとなる、本質的なサステイナブルツーリズムプログラムを造成。
- ②E-Bikeを導入することで、サステイナブルな二次交通手段を確立。町内回遊率を高め、地域経済への貢献も図っていく。
- ③新型コロナウイルスの影響により団体旅行需要およびインバウンド顧客の減少が長期化する中、新しい顧客層として旅行意欲が高い若年層を戦略ターゲットとして設定。「サステイナブルな吉野熊野国立公園旅」をテーマに、記事、特集ページを作成し若者への認知拡大を図る。

(課題)

- ①若年層へのアプローチが出来ておらず、20代～30代の来町者の割合が低い(日帰り:35.5%、宿泊:27.4%(DMOの令和3年度調査結果より))
- ②町内を回遊するための二次交通手段が確立されていない。町内回遊率:6.8%(那智山エリアから町中への回遊率(DMOによる令和3年度調査結果より))
回遊率が低い＝町内滞在時間が短い＝観光消費額も低い。つまり滞在時間2～3時間の立ち寄り観光地となっている。
- ③効果的な観光プロモーションが行われてこなかったため、知られていない観光資源が多い。

モニターツアー

○ターゲット設定

サステイナブルに関心が高く、自然や文化を体験として楽しみたい20～30代の若年層

○現地視察実施

令和4年8月17日～19日

株式会社TABIPPOとともに町内を視察し、モニターツアーにおけるE-Bikeの行程や体験アクティビティなどを選定

○ツアー集客

旅好きの若年層を中心に注目度が高い旅行系総合WEBメディア「TABIPPO.NET」にて、ツアー集客用記事を掲載

<https://tabippo.net/nachikatsuura-tour/>

A collage of images related to the tour. The top row shows a lake with a small boat, a waterfall, and a traditional Japanese building. The middle row features a blue banner with the text "TOUR 和歌山県" and "世界遺産と生まぐろの町". Below this is another blue banner with "那智勝浦" and "Sustainable Tour". The bottom row shows a plate of food, a person riding a bicycle, and a person standing in front of a building. At the bottom, a blue banner contains the text "2022.12.17-19" and "限定10名の参加者を募集!".

TOUR 和歌山県

世界遺産と生まぐろの町

那智勝浦

Sustainable Tour

2022.12.17-19 限定10名の参加者を募集!

モニターツアー

○モニターツアーの実施

1)実施日時:令和4年12月17日(土)～令和4年12月19日(月)

2)実施場所:吉野熊野国立公園・那智勝浦町

3)参加人数:当日参加者6名(他スタッフ4名)

※定員10名に対し申込者10名、新型コロナを理由とするキャンセル4名

4)参加費:¥40,000/名

5)行程

1日目:現地宿泊施設(WhyKumano)にて合流～オリエンテーション～世界遺産情報センター～那智山エリア～宿泊施設

2日目:宿泊施設～色川地区(菜花の収穫体験、ジビエの解体体験、体験レストランAima)～宿泊施設(交流会)

3日目:宿泊施設～勝浦漁港(競り見学)～道の駅太地～大泰寺(テントサウナ)～サイクルトレイン(太地駅＝紀伊勝浦駅)～宿泊施設(クロージング)



世界遺産情報センター



熊野那智大社



ジビエ解体体験



E-Bike



サイクルトレイン



テントサウナ

モニターツアー

○参加者属性

年齢:20代 6名

性別:男性 2名、女性 4名

職種:学生 2名、会社員 2名、フリーランス 2名

○参加者の声

ツアー最終日に参加者とスタッフの座談会形式にて振り返りを実施し、解散後にアンケートを実施

(良かった点)

- ・E-Bikeを利用することで公共交通を使用していると止まれないようなところで立ち止まって景色を見られたり、行きたいところに簡単に行けることや、町がコンパクトであり、狭い範囲で海と山を体験できる点が良かった。
- ・旅行中に地元の住民やお店の方に気軽に話しかけてもらえることが、都会にはない間隔で温かい気持ちになった。
- ・サステイナブルについて、地元の課題や取組などを同行スタッフに説明してもらいながら旅行することで、理解が深まった。
- ・町がコンパクトであり、狭い範囲で海と山を体験できる点が良かった。

(ネガティブ)

- ・テントサウナ体験はもっと時間を取って良かった。
- ・那智勝浦町に来るまでの公共交通機関が脆弱で、1本電車を逃すと大幅に予定が遅れてしまう。
- ・気温、雨天などの対策、代替案が必要と感じた。冬季のE-Bikeはかなり寒い。
- ・フリータイムをもっと入れても良かった。温泉にゆっくり浸かりたかった。

モニターツアー実施後のプロモーション

○WEBメディアにレポート記事・特集ページを掲載
TABIPPO.NETにて、ツアーレポート記事を2本と、
吉野熊野国立公園・那智勝浦エリアを訴求する特集ページ
を製作。

ツアー参加者以外への認知拡大・理解促進や、次回以降の
ツアー集客に役立てる。

<https://tabippo.net/nachikatsuura-tour-report01/>

<https://tabippo.net/nachikatsuura-tour-report02/>

<https://tabippo.net/special/wakayama/>

TABIPPO エリア▼ 目的▼ 特集 イベント 人気のカテゴリ: グルメ リフレッシュ 沖縄県



サステイナブルツーリズム・2023年1月27日 (2023年2月13日更新) by WhyKumano・一般社団法人 那智勝浦観光機構

**【和歌山県 那智勝浦】見どころ大!歴史と文化
と自然を満喫する、2泊3日のサステイナブル
ツアー**



事業検証結果

○若年層への訴求力

当地方の観光客といえば50～60代以上で、那智山を中心とした主要観光地の通過型観光が主流である。今回実施したツアーでは、旅好きな若者から高い満足度を得た。要因は以下のとおり

- ・少人数で近しい属性の旅行者が集まることで同じツアーの参加者及び現地スタッフと交流を深めることができる
- ・従来型の募集媒体ではなく、特に若年層にファンの多いWEBメディアを使用しプロモーションできたこと
- ・現地ガイドがタイムリーに質問に答えてくれる「学び」のある旅
- ・体験アクティビティを多彩に盛り込んだ行程

○滞在時間の延長・地域への経済効果

- ・移動自体をアクティビティとするE-Bikeを活用することで、滞在時間の延長や行程の自由化が図れる
- ・E-Bikeを活用することで従来の交通網では立ち寄りが難しかった山間部などの体験施設やレストランを行程に組み込むことができる。また、学びのある体験型コンテンツにすることで各体験施設での価格を高め設定することができる
- ・宿を起点として食事や観光スポット、体験コンテンツを充実させることで町内の滞在時間を延ばし、多種多様な事業者での消費活動が見込める

今後の改善点・展望

○ツアーの改善点

- ・天候や季節に応じた気温対策、雨天時の代替コースを設定する
- ・E-Bikeを利用するにあたりサイクルリーダーの登用や、怪我及び物損事故に対応できる保険に加入する
- ・現地ガイドの有用性が確認できたため、人材を養成する
- ・1泊2日や日帰り、一部コンテンツのみのパターンなど多様な形態のモデルを形成する

○今後の活動予定

- ・四季に応じた体験コンテンツを盛り込み、ツアーの試行回数を増やしていく(熊野古道トレッキング、シーカヤック、SUP、マグロ解体体験など)
- ・ツアーの販売形態を拡充する(那智勝浦観光機構HPでの予約など)
- ・今回活用した事業者以外での旅行メディアへの露出や、SNS等での認知度向上を図る
- ・モニターツアーの実績をもとに、地域の事業者(交通・飲食・体験施設)で連携できる事業者を増やす
- ・ツアーを通して参加者と現地の住民の関係を深めることで、リピーター増、関係人口の増につなげる